

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	評価			改善目標、工夫している点など	
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	0	基準を満たしている	
	② 職員の配置数は適切であるか	4	2	1	基準を満たしている	
	③ 子どもにわかりやすい構造、情報伝達等に配慮した環境など、設備整備が適切になされているか	4	3	0	各児童に応じて必要な環境整備・構造化については、適宜検討と調整をしている。 使用する設備は、適宜メンテナンスしている。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	5	0	毎月目標を定め、職員全体で作業内容の振り返りをし、随時改善している。 個別目標を設け、目標達成に向けて知識や技術を高めている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2	0	毎年3月に保護者の方に評価表のアンケートにご協力いただき、スタッフ間で業務改善の参考としている。また、自社HPにて公開している。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0	自社HP上と、ご家庭に向けた通信で12月中旬に公開予定	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	0	今後、関係機関に協力を仰いで、評価いただく機会を作るように努力する。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	3	0	県や市町村から通知のあった研修等に積極的に参加している。また、当日参加できなかった職員にも、後日事業所内研修として共有する機会を設けている。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	アセスメントや相談支援員のサービス等利用計画をもとに計画を作成している。 計画作成の段階で複数のスタッフが関り、多面的・多角的な視点からより客観的にニーズや課題に対しての支援方法を見出ししていく必要がある。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	0	使用している。 各スタッフが周知してから支援に入る。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	スタッフミーティングで検討している。 お子さん一人一人に合った活動をご提案している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	3	0	各児童のペースに合わせて提案している。 活動を選択できるように提示している。	
	適切な支援の提供	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4	0	時期に応じて支援方法を含めた環境調整を適宜行っている。
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		6	1	0	お子さんの様子を確認しながら、活動を組み合わせている。 活動量等については、個別支援計画に掲載してサービス提供を行っている。	
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		7	0	0	適宜確認している。 適切なサービスを提供するため、環境や職員配置の調整を行っている。	
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		7	0	0	適宜共有している。 各職員の視点から状況確認することで、多面的・多角的に支援状況を確認している。	
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		6	1	0	記録している。関係者会議や支援会議で活用し、関係機関やスタッフと共有することで様々な意見を聞き取りながら対応できている。	
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		7	0	0	行っている。モニタリング後はスタッフ間で共有し、見直しがあるか判断している	
⑳ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		5	2	0	児童一人ひとりの状態に沿って計画を作成し支援を行っている	
チェック項目						
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携		㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	参画している。
		㉒ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2	0	関係者会議やお迎えの際に、学校での様子、送迎時の対応、行事予定を確認している。
	㉓ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				(医療的ケア児の受け入れナシ)	
	㉔ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				(現時点で該当児童ナシ)	
	㉕ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5	1	(現時点で該当児童ナシ)	
	㉖ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	0	直接助言を頂く機会はめったにないが、センターからのフィードバックをご家庭より共有していただくようにしている。また、自治体等の主催する専門機関の研修などを積極的に受講している。	
	㉗ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	0	支援学校に在籍ではない児童が多く、日ごろ学校にて交流があるため、当事業所ではそういった機会を特に設けていない。年に数回、地域交流として、幅広い年代の大人や子どもが集まる野外イベントに参加する機会を設けている。	
	㉘ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	4	3	0	南アルプス市障がい者自立支援協議会子ども部会研修会に職員が参加し研鑽した。	
	㉙ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	日々の活動については、連絡帳システムで共有している ご家庭の様子や状況については連絡帳システムの返信や関係者会議・モニタリング会議で共有している	
	㉚ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	0	ご要望のある保護者の方に個別に面談をしている。また、R5年度は、事業所としてペアレントの機会として毎月親ラボを開催している。今後も定期的に案内できるように努力したい。	
	保護者への説明責任等	㉛ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	4	0	運営規定・利用者負担についてはご契約時、支援の内容についてはご契約時やモニタリングの際にご説明させていただいている。
		㉜ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	6	0	必要に応じ、個別に時間を確保し面談を行っている。またこちらからも共有事項がある際は連絡帳システムや送迎時にお伝えする時間を設けている。
		㉝ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	2	保護者会等は開催していない。特にニーズはなかった。引き続き、保護者の皆様のニーズを確認し、必要があれば検討する。
㉞ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		0	7	0	今のところ苦情はないが、迅速かつ適切に対応するようスタッフ間で体制を整えている。	
㉟ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		5	2	0	毎月のお知らせや通信にて活動内容や行事予定を案内している。	
㊱ 個人情報に十分注意しているか		5	2	0	重要書類は県の指導の下、鍵付きのキャビネットに保管している。	
㊲ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		5	2	0	連絡帳システム・連絡ツールを用いて保護者がいつでも情報交換できる環境をご用意している。毎月通信を発行している。	
㊳ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか		0	2	4	当事業所においては、普段と違う状況や、知らない人が苦手なお子さんが多いため、地域住民を招くような行事は開催しない。	
非常時等の対応		㊴ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	5	1	諸々策定はしているが、ご家庭に周知できていないので、今後しっかりとお伝えしていく。
		㊵ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	4	0	年間計画のもと、研修・訓練を行っている。
	㊶ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3	0	年間を通して、専門機関の開催する研修に、積極的に参加している。 ミーティング等で常々職員間にはっきりと周知し、適切な関わりをしている。	
	㊷ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	5	0	(現時点で該当児童ナシ)	
	㊸ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	0	普段オヤツ等の提供はしないが、学休日等に提供する際には、在籍児童のアレルギーのないものを用意している。	
	㊹ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	作成し、職員全員で共有している。	